

産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月26日	
愛媛県知事 中村 時広 殿	
提出者	
住 所 愛媛県今治市延喜甲303-8	
氏 名 (株)タニグチ	
代表取締役 谷口 賢直	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0898224016	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	(株)タニグチ
事業場の所在地	愛媛県今治市延喜甲303-8
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	完成工事高 令和6年度 ￥2,416,514千円 (税抜き)
③ 従業員数	58 名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) (1) 廃棄物の発生を抑制する作業手順や工法を検討している。 (2) 廃棄物の分別を行い、リサイクル可能な物は中間処理施設へ処分の委託をしている。 (3) 機器や物品等の購入、点検や修理等で発生する廃棄物は、原則納入業者回収としている		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) (1) 上記、現状の取組を継続する。 (2) 施工段階で廃棄物の発生抑制、現場内流用、減量化が見込めるものについては、処理方法について協議する。 別紙のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：環境省通知の種類(第061227006)に該当するもの 分別：種類別の処分・処分方法を検討し、可能な種類に対し分別を行って排出している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記事項をさらに徹底した上で、分別を行うことで混合廃棄物の排出を抑制する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t t
(今後実施する予定の取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取り組みを徹底するとともに、可能なものは優良認定処理業者に 処分の委託をすることで、より確実に適切な処理を行う。 別紙のとおり		
※事務処理欄			

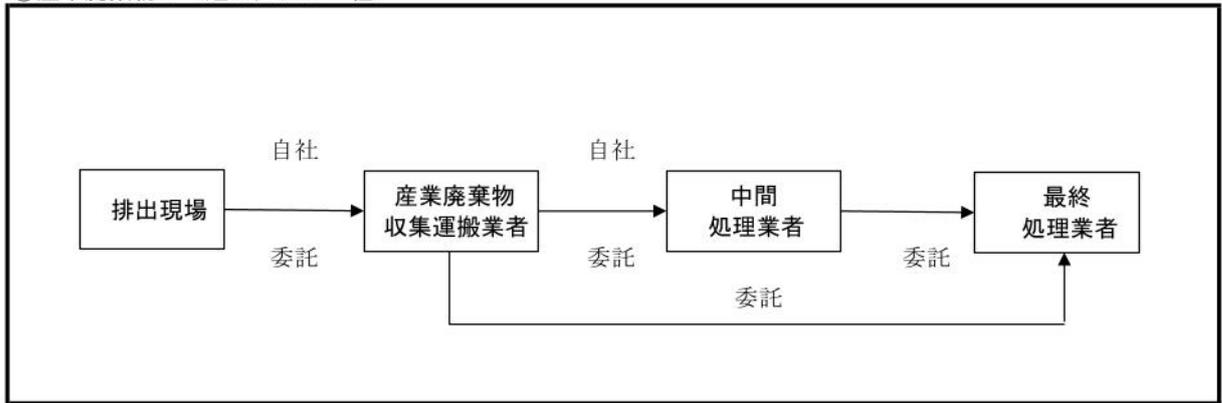
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1

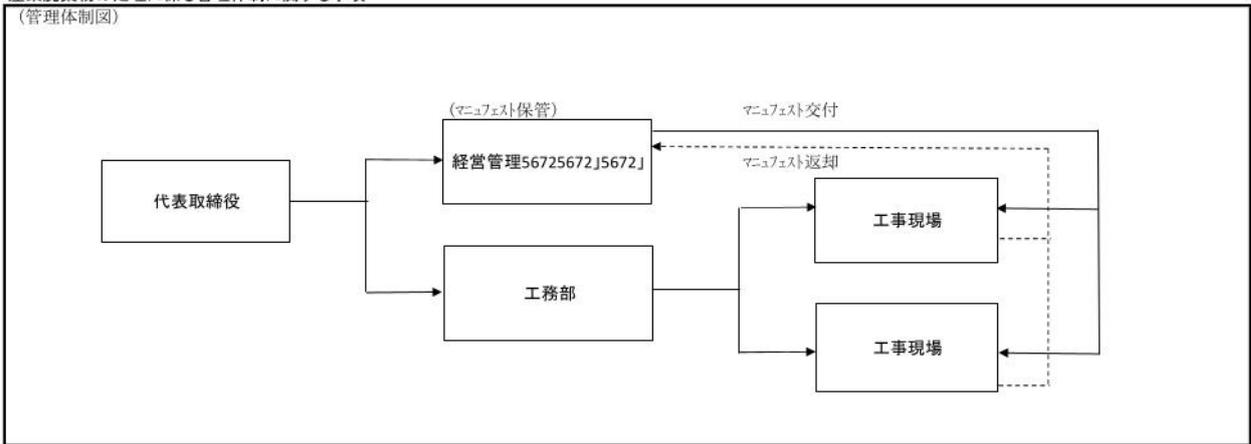
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

④産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙2

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



株式会社 タニグチ 令和7年度 産業廃棄物処理計画書

作成日 : 令和 7年6月26日

現状: 前年度実績量(令和6年度)

計画: 今年度実績量(令和7年度)

単位:t/年

産業廃棄物 種類	排出の抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理の委託に関する事項									
	排出量		自ら行う再生利用の 産業廃棄物の量		自ら行う熱回収の 産業廃棄物の量		自ら行う中間処理で 減量する産業廃棄物の量		自ら行う埋立や海洋投入 処理の産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への 処理委託量		再生利用業者への 処理委託量		認定熱回収業者への 処理委託量		認定熱回収業者以外の 熱回収業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
安定型	コンクリートがら	5672	600								5672	600			5672	600				
	アスコンがら	910.7	100								910.7	100			910.7	100				
	その他がれき	69.4	50								69.4	50			69.4	50				
	ガラス・陶磁器くず	17.5	15								17.5	15			17.5	15				
	廃プラスチック類	93.6	80								93.6	80			93.6	80				
	金属くず	7.3	5								7.3	5			7.3	5				
	混合(安定型のみ)	15.1	10								15.1	10			15.1	10				
	石綿含有産業廃棄物	14.9	10								14.9	10								
管理型	建設汚泥	0									0		0	1						
	紙くず	2.1	1								2.1	1			2.1	1				
	木くず	45.4	40								45.4	40			45.4	40				
	繊維くず	0.1	0.1								0.1	0.1			0.1	0.1				
	廃石膏ボード	95.7	60								95.7	60			95.7	60				
	混合(管理型含む)	31.3	20								31.3	20			31.3	20				
	石綿含有産業廃棄物	0	2								0	2	0	2						
	水銀使用産業廃棄物	0.3	1								0.3	1	0.3	1						
特別管理	廃石綿等	0	1							0	1	0	1							
合計	6975.4	995.1	0	0	0	0	0	0	0	0	6975.4	995.1	0.3	5	6960.2	981.1	0	0	0	0